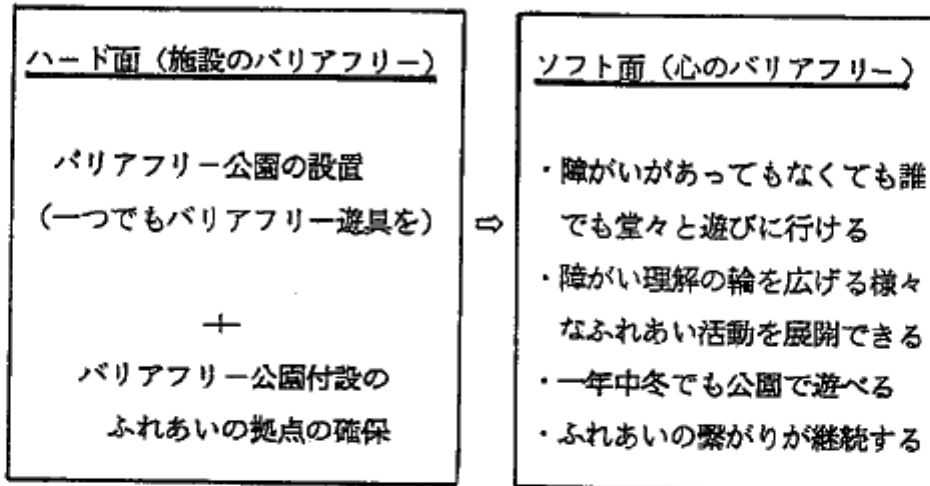


分科会提出レポート むくどりホーム・ふれあいの会代表 柴川明子 2004.1.6
「バリアフリー公園とふれあいの拠点におけるふれあい活動を各地域に展開する試み」

公園のバリアフリー化活動



活動の発展的波及効果

- 子育てサロン ○世代間交流 ○障がい児・者との交流
- 高齢者サロン ○総合学習 ○研修実習 ○ボランティア体験
- 障がい理解学習会 ○障がい理解研究会 ○情報提供
- 相談窓口 ○ネットワークづくり ○居場所づくり

○16年度1年間に実施したいこと

(以下5項目はむくどりホーム・ふれあいの会をテストケースとして実施する)

1. 調査・バリアフリー公園とふれあいの拠点の必要性についてアンケート調査をする
2. 出版・ふれあいのエピソードを含め、ふれあい活動のガイドブックを作成する
3. ビデオ作成・ふれあい活動の意義をわかりやすく提示できるビデオを作成する
4. フォーラムの開催・バリアフリー化活動の必要性と実践方法を考え合う会を開く
5. 官民協働の模索・バリアフリー化活動を官民協働でどう進められるかを模索する

○1年以降の実践

- ・バリアフリー公園(部分的リニューアルを含む)とふれあいの拠点(空教室、会館等の利用を含む)を各地域の実情に合わせて可能な限り設置し、バリアフリー化のふれあい活動を実施する。